

仏さまはどこにおられますか？

近田 昭夫

目次

表紙デザイン 株式会社 文化写真版画社

一、なぜ、絵像・木像の阿弥陀如来を本尊としているのか

- 真宗の「本尊は何ですか?」..... 1
- お立ち姿の阿弥陀さま..... 7
- 「極楽へ行っても阿弥陀さんはお留守やぞ」..... 10
- 言葉となってわれらのもとへ..... 13
- 「南無阿弥陀仏」が如来のフルネーム..... 18
- 念仏申す、そこに如来まします..... 21

二、人の死で、なぜ経が読まれるのか

- 悩みつづけた二つの疑問..... 24
- 人間の言葉では間に合わない..... 27

- 人間は「絶対の孤独」..... 31
- 「無有代者」という事実..... 34
- 大いなる悲しみの心..... 35
- 決して人には言えないこと..... 38
- 共に歩いてくださるパートナー..... 43
- 如来われとなりて、われを救いたまう..... 48
- 本願のいわれを聞く..... 50
- あとがき..... 54

一、なぜ、絵像・木像の阿弥陀如来を
本尊としているのか

■真宗のご本尊は何ですか？

今日は、東本願寺の「春の永代経総経」にあたりまして、午前は「なぜ、絵像・木像の阿弥陀あみだにょらい如来を本尊としているのか」、午後は「人の死で、なぜ経が読まれるのか」をテーマに、短い時間ですが、お話をさせていただきます。どうぞ一緒に考えていただければ幸いです。今さら申すまでもありませんが、浄土真宗は、阿弥陀如来をご本尊としています。

私は東京で生活しておりますが、親鸞しんらんしやうじん聖人が壮年時代を過ごされた北

関東には真宗のお寺がたくさんございます。親鸞聖人ゆかりの寺々です。ところが、そのあたりで圧倒的に多いのは真宗ではなく真言宗、天台宗のお寺なのです。そして、真言宗と天台宗のお寺は、ご本尊が決まっていけないのです。おかしいなと思って、「なぜですか」とお聞きしました。そうすると、「私どもは、お寺にゆかりのある仏像をご本尊としておまつり申しておりますので、ご本尊は一定しておりません」とのこと。ですから天台宗と真言宗では、お寺によってご本尊が違います。ところが浄土真宗は、本山はじめどこのお寺でも、ご門徒もんたの家のお内ない仏ぶつに至るまで、仏さまといえは阿彌陀如来だけでしよう。ここ東本願寺においでになっても、人気のあるお地藏じざうさんも観音かんのんさんもお薬師やくしさんもしららない。ただ阿彌陀一仏というところに、浄土真宗というの

は成り立っているわけです。

親鸞聖人は、ご自分でお書きあそばされた「南無阿彌陀仏」という六字みようごうの名号を、あるいは「帰命きみょう尽十方無碍光如来」という十字の名号をご本尊として礼拝らいはいなさっておられたとうかがっております。

ところが現在では、お寺では木像の阿彌陀如来、みなさまのご家庭のお内仏では絵像の阿彌陀如来です。親鸞聖人がお名号をご本尊としておられたというのに、今なぜ絵像・木像の阿彌陀如来をご本尊として仰ぎまいらするのか。

私は、中近東のほうへたびたび旅行したことがあります。だいたいイスラム圏です。イスラムの教会はモスクと言いますが、そこへ行きますと、ご本尊にあたるものは何もないですよ。壁が一か所へこんでいるだ

けなのです。これは何ですかと聞くと、聖地メッカの方向ですと言われる。イスラム教徒は一日に五回、聖地に向かって礼拝をされますから、こちらの方向がメッカですよということを知らせるために壁の一角がへこんでいるのです。キリスト教の教会へ行きますとマリアさまの像がありますね。イエス・キリストの像もございます。ところがイスラム教のモスクに行くと、そうしたものは全然ありません。これはご存知のとおり、イスラム教では偶像崇拜くわうすうはいを禁じているからなのです。

ですから、イスラム教からすれば、仏教は偶像崇拜でないかという声が出てくるのは当然です。これは浄土真宗ばかりではない。どのお寺に行っても、みんな仏像がご本尊として安置されている。ですからイスラムの人から見れば、偶像崇拜だと思われるのは当然です。

しかし、仏教は偶像崇拜ではありません。それなのに、偶像崇拜だと思われてもしかたがないような危険水域のことになっているのです。それが阿弥陀如来の絵像・木像を本尊としているということの現実です。これは、われわれにとってどういう意味があるのでしょうか。

例えば、仏具屋で仏壇を買ったとします。そうすると、「おたくの宗旨しゅうじは？」と聞かれますので、「うちは真宗大谷派です」と言うと、「あ、ご門徒さんですね。それなら、ご本尊は阿弥陀如来さまですよ」と教えてくれます。寺の住職に相談すれば、ご本尊はご本山からお受けするのだということ、いわば自動的にお内仏にご本尊が入ってしまうわけです。

私は東京で住職を長くしておりますけれども、東京あたりでも、以前は結婚して一家を持ったたら親が仏壇を買って祝ったものです。私が若い